

台湾・韓国物流事情調査

TAIWAN AND SOUTH KOREA LOGISTICS SURVEY REPORT

平成 31 年 3 月

March 2019



一般社団法人 国際フレイトフォワードーズ協会

JAPAN INTERNATIONAL FREIGHT FORWARDERS ASSOCIATION INC.

はじめに

台湾・韓国は日本の隣に位置しながら、JIFFA 会員の現地法人がさほど多くなく、代理店経由だけでは得られない現地情報の体系的な把握が必要なことから、今般、JIFFA フォワーディング委員会では国際交流委員会と共同で物流事情調査を行いました。

昨年末のジェトロの発表によれば、アジア 20 カ国・地域に進出している日系企業の内、黒字であると答えた企業数の割合が最も多かった進出先は 84.9%の韓国で、2 位が 84.4%の台湾でした。これは 71.7%の中国や 67.2%のタイを凌駕するものです。

また、国土交通省が 5 年ごとに実施しているコンテナ貨物流動調査の日本発アジア向けコンテナ貨物量では、1 位の中国、2 位のタイに次いで、3 位が台湾、4 位が韓国の順になっています。

このように、物流業界にとっても非常に重要な相手先と位置付けられる台湾・韓国に共通する特徴として、海運オペレーションにおける IT 化が大いに進展している点が挙げられます。港湾混雑も見られず、システムティックに物流が動いています。

本報告書では、第一部で台湾、第二部で韓国を取り上げ、それぞれ第 I 章「概況」で経済・貿易・投資環境を概説した後、第 II 章「港湾事情」で各港の状況や FTZ について述べています。さらに第 III 章「輸送機関・インフラ事情」で道路・鉄道・航空輸送を解説し、最後に第 IV 章「フォワーダー・通関事情」で輸出入手続き・フォワーダーについて報告する構成をとっています。

この度の現地調査に際して多大なるご協力をいただいた皆様に深謝申し上げるとともに、本報告書が JIFFA 会員並びに関係各位のビジネスの一助になれば幸いです。

2019 年 3 月吉日

協力企業・団体（ABC順）

（台湾）

Elite International Marketing & Management Co.,Ltd.

Evergreen International Corp.

Evergreen International Storage & Transport Corp.

International Ocean Freight Forwarders & Logistics Association, Taiwan

Kao Ming Container Terminal Corp.（高雄港コンテナターミナル視察）

Ocean Network Express (Taiwan) Co., Ltd. Kaohsiung Office

SOMPO Taiwan Brokers Co., Ltd.

Taichung Port Container Terminal（台中港コンテナターミナル視察）

Taipei Port Container Terminal Corp.（台北港コンテナターミナル視察）

Taiwan Chemi-Con Corporation

United Logistics International Corp.（基隆港コンテナターミナル視察）

Yang Ming Marine Transport Corp.（高雄港コンテナターミナル視察）

YES Logistics Corp.

遠雄自貿港投資控股股份有限公司（台北桃園国際空港自由貿易港區視察）

公益財団法人日本台湾交流協会 台北事務所

三菱UFJ銀行（台北支店）

台湾宅配通股份有限公司

台湾日通国際物流股份有限公司 高雄支店

台湾日通国際物流股份有限公司 台中支店

台湾日通国際物流股份有限公司（本社）

(韓国)

CJ 大韓通運

JETRO (ソウル事務所)

KIFFA: Korea International Freight Forwarders Association

Korean Air Lines Co., Ltd. (仁川空港施設)

KSM Co.,Ltd.

Ocean Network Express (Korea) Co., Ltd. (釜山新港コンテナターミナル視察)

Pukwan Ferry Co., Ltd. (釜山港フェリーターミナル視察)

SNTC Terminal (仁川新港コンテナターミナル視察)

Sompo Consulting Korea Inc.

韓国日本通運株式会社 (本社)

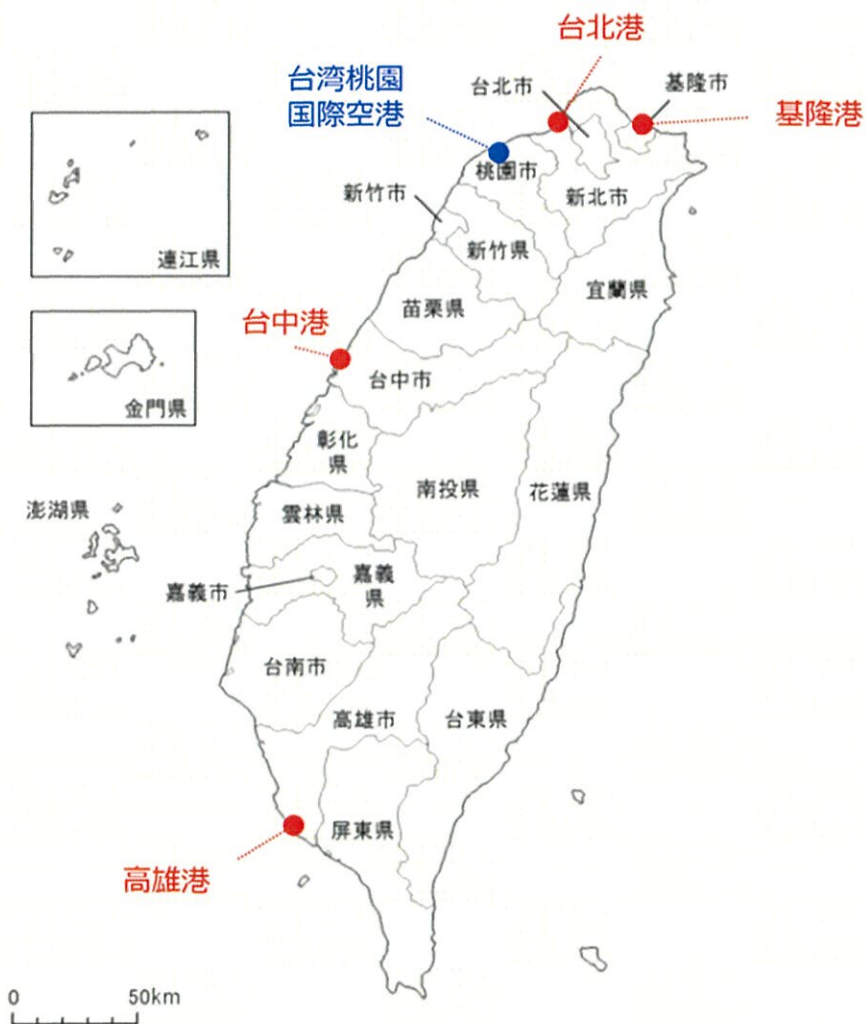
三菱 UFJ 銀行 (ソウル支店)

一般社団法人 国際フレイトフォワードーズ協会
フォワーディング委員会
国際交流委員会

出張調査マップ・調査期間

(台湾)

今般の調査は、台湾三大都市である台北、台中、高雄を中心に実施した。台北では台北港、基隆港および台北桃園国際空港を視察、その他、世界第13位（2016年）の取扱量を誇り、台湾の最大コンテナ港湾である高雄港、および台湾中部の台中港を視察した。

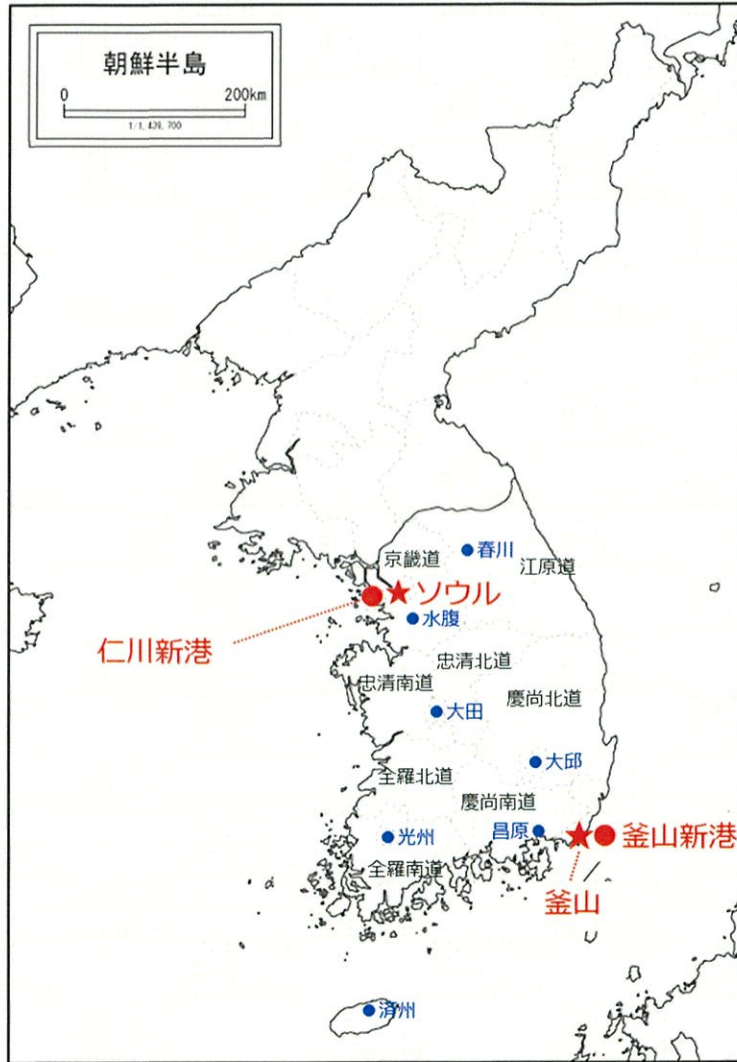


出所：白地図より作成

(韓国)

今般の調査は、日系企業が多く進出・集積している首都のソウルと海上物流の玄関口(ゲートウェイ)である釜山を中心に行った。

また、韓国の首都ソウルに隣接し、環黄海圏の物流ハブ港湾として2016年にオープンした仁川新港と、韓国最大の規模と貨物取扱量を誇る釜山新港を訪問、視察した。



出所：白地図より作成

(調査スケジュール)

調査期間	台湾：平成 30 年 10 月 21 日（日）～10 月 26 日（金） 韓国：平成 30 年 10 月 29 日（月）～平成 30 年 10 月 31 日（水） ※27～28 日は休日および移動日
訪問・視察先	<台湾> <u>台北</u> ・三菱 UFJ 銀行（台北支店） ・公益財団法人日本台湾交流協会 台北事務所 ・SOMPO Taiwan Brokers Co., Ltd. ・United Logistics International Co.（基隆港視察） ・台湾日通国際物流股份有限公司（本社） ・台湾宅配通股份有限公司 ・International Ocean Freight Forwarders & Logistics Association, Taiwan ・Taiwan Chemi-Con Corporation ・Taipei Port Container Terminal Corp.（台北港視察） ・遠雄自貿港投資控股股份有限公司（台北桃園国際空港自由貿易港區視察） <u>台中</u> ・台湾日通国際物流股份有限公司 台中支店 ・Taichung Port Container Terminal（台中港視察） ・Elite International Marketing & Management Co.,Ltd. <u>高雄</u> ・Yang Ming Marine Transport Corp.（高雄港視察） ・YES Logistics Corp. ・Ocean Network Express (Taiwan) Co., Ltd. Kaohsiung Office ・Kao Ming Container Terminal Corp.（高雄港視察） ・台湾日通国際物流股份有限公司 高雄支店 <韓国> <u>ソウル</u> ・Sompo Consulting Korea Inc. ・JETRO（ソウル事務所） ・三菱 UFJ 銀行（ソウル支店） ・KIFFA: Korea International Freight Forwarders Association ・韓国日本通運株式会社（本社） ・SNTC Terminal（仁川新港） ・Korean Air Lines Co., Ltd.（仁川空港視察） ・CJ 大韓通運 <u>釜山</u> ・釜山新港コンテナ・ターミナル (Pusan New Port Terminal) ・Pukwan Ferry Co., Ltd.（釜山港フェリー・ターミナル視察） ・KSM Co.,Ltd.)
訪問ルート	日本→（空路）→台北→（陸路）→台中→（陸路）→高雄→（陸路）→台北 →（空路）→ソウル→（陸路）→釜山→（空路）→日本

目次

はじめに

出張調査マップ・調査期間

第一部 台湾

第Ⅰ章 台湾の概況.....	1
1. 台湾の経済概況.....	1
(1) 基礎知識.....	1
(2) 経済規模・経済成長率の動向.....	4
(3) 金融・為替等の動向.....	5
(4) 人口・労働事情.....	7
2. 台湾の貿易概況.....	12
(1) 輸出入金額・品目・相手国.....	12
(2) 対日貿易の状況.....	15
(3) 貿易協定の締結状況.....	16
3. 台湾の投資環境.....	18
(1) 外資投資規制.....	18
(2) ネガティブリスト.....	19
(3) 投資奨励制度.....	22
(4) 外国投資の状況.....	22
4. 台湾における日系企業の進出状況.....	26
(1) 日本からの直接投資の状況.....	26
(2) 進出企業数.....	28
第Ⅱ章 港湾事情.....	30
1. 台湾の港湾概況.....	30
(1) 概要.....	30
(2) 管理主体.....	31
(3) 取扱量の動向.....	32
(4) 世界のコンテナ港湾の中での位置づけ.....	32
2. 主要港湾の概況.....	34
(1) 基隆港.....	34
(2) 台北港.....	38
(3) 台中港.....	42
(4) 高雄港.....	46
3. 台湾 FTZ.....	52

(1) 台湾における経済区.....	52
(2) 台湾 FTZ の概要.....	53
4. 視察結果.....	62
(1) 基隆港 (ULIC)	62
(2) 台北港 (TPCT)	64
(3) 台中港 (EMC)	66
(4) 高雄港① (YM)	68
(5) 高雄港② (KMCT)	70
(6) 桃園国際空港 (Farglory FTZ)	72
第III章 輸送機関・インフラ事情.....	75
1. 台湾における貨物輸送の概況.....	75
(1) 輸送量および輸送分担率.....	75
2. 各輸送機関の状況.....	76
(1) トラック輸送.....	76
(2) 鉄道輸送.....	79
(3) 航空輸送.....	81
第IV章 フォワーダー・通関事情.....	90
1. 輸出入手続き.....	90
(1) 品目ネガティブリスト.....	90
(2) 輸出通関の流れ.....	92
(3) 輸入通関の流れ.....	92
(4) 関税体系.....	94
2. フォワーダー事情.....	96
(1) 進出日系事業者・拠点数.....	96
(2) IOFFLAT (International Ocean Freight Forwarders & Logistics Association, Taiwan)	96
第二部 韓国	
第I章 韓国の概況.....	96
1. 韓国の経済概況.....	96
(1) 経済規模・経済成長率の動向.....	99
(2) 為替、物価の動向.....	100
(3) 人口・労働事情.....	101
2. 韓国の貿易概況.....	104
(1) 輸出入金額・品目・相手国.....	104
(2) 対日貿易の状況.....	109

(3) 貿易協定の締結状況.....	111
3. 韓国の投資環境.....	112
(1) 外資投資規制.....	112
(2) 奨励措置.....	114
(3) 外国投資の状況.....	114
4. 韓国における日系企業の進出状況.....	116
(1) 日本からの直接投資の状況.....	116
(2) 進出企業数.....	117
(3) 日系企業の業績動向.....	119
第II章 港湾事情.....	120
1. 韓国の港湾概況.....	120
(1) 概要.....	120
(2) 管理主体.....	121
(3) 取扱量の動向.....	121
(4) 世界のコンテナ港湾の中での位置づけ.....	122
2. 主要港湾の概況.....	123
(1) 仁川港.....	123
(2) 釜山港.....	128
3. 韓国 FTZ.....	136
(1) 韓国 FTZ の概要.....	136
(2) FTZ の機能.....	139
(3) 釜山 FTZ.....	142
4. 韓国版 24 時間ルール（出港前報告制度）.....	146
5. 視察結果.....	147
(1) Sunkwang Newport Container Terminal (SNCT).....	147
(2) 釜山新港株式会社 (PNC).....	150
(3) 釜山港国際旅客ターミナル.....	156
第III章 輸送機関・インフラ事情.....	162
1. 韓国における貨物輸送の概況.....	162
(1) 輸送量および輸送分担率.....	162
2. 各輸送機関の状況.....	163
(1) トラック輸送.....	163
(2) 鉄道輸送.....	169
(3) 航空輸送.....	172
第IV章 フォワーダー・通関事情.....	180
1. 輸出入手続き.....	180

(1) 輸出入許可申請.....	180
(2) 輸出手続きの流れ.....	180
(3) 輸入手続きの流れ.....	181
(4) 関税体系.....	181
(5) UNI-PASS システム	182
2. フォワーダー事情.....	184
(1) 進出日系事業者・拠点数.....	184
(2) KIFFA (Korea International Freight Forwarders Association).....	184